

クラウドファンディングで支援を求めています！ みなさまのご協力をお願いいたします

ベトナム人女性のひとつの願い。戦争で生き別れた父の故郷日本へ



検索ワード【レディーフォー 父の故郷・日本へ】 <https://readyfor.jp/projects/marikosstory>

今年74歳になるグエン・ティ・アン(日本名:「くすはら」もしくは「くずはら」まりこ)さん。

太平洋戦争終結の前年にベトナムのサイゴン(現ホーチミン市)で生まれました。当時、サイゴンで日本兵らに雑貨などを売る仕事をしていた日本人の父親と、そのお店で働いていた母親との間に生まれたハーフ。戦争終結間近に「外国人強制退去命令」において、父親は日本に帰国せざるを得ませんでした。その後、再会を果たせないまま、現在に至ります。

「すでに100歳を超えたお父さんは、おそらく生きている可能性は低いと思います。お父さんのお墓参りをしたくても場所もわかりません。でも、一度、お父さんが生まれた日本という国を見てみたいです」と涙を溜めて話すまりこさん。彼女の願いを叶えたいと思い、このプロジェクトを立ち上げました。



村山康文(フォトジャーナリスト)

1968年兵庫県生まれ。

98年、大学教授の紹介で報道写真家の石川文洋氏に出会い、「ベトナムで石川文洋写真展を見るツアー」に参加。その後、ベトナムに魅せられ、渡航を重ねる。

現在は、主にベトナム、韓国、日本の社会問題をカメラとペンで追いかけて、弱者を守る立場からエイズ・戦争・差別などをテーマに各地で写真展や講演会を開いている。京都市在住。

【お問い合わせ先】

村山康文写真事務所

〒606-8211 京都市左京区田中西大久保町1-6

090-6665-9115 yasumu43@hotmail.com